

# 多摩小平保健所 感染症NEWS

## 注意してほしい感染症

- 百日咳が全国的に急増しており、各地で過去最多を更新しています。多摩小平保健所管内では4月までの段階で2018年（全数報告開始）以降年間報告数が過去最多となりました。乳幼児では死に至る危険性もあるため、定期予防接種を確実に受けましょう。
- 第17週に東京都で水痘（みずぼうそう）が注意報レベルとなりました。引き続き、注意が必要です。

## 保健所からのお知らせ

### 百日咳が増えています！！

百日咳菌による呼吸器感染症です。どの年代でもかかりますが、乳児では無呼吸発作や肺炎など重篤になる場合があります、特に**生後6か月未満**では死に至る危険性もあるため注意が必要です。主に、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによって感染します（飛沫感染）。



### 症状

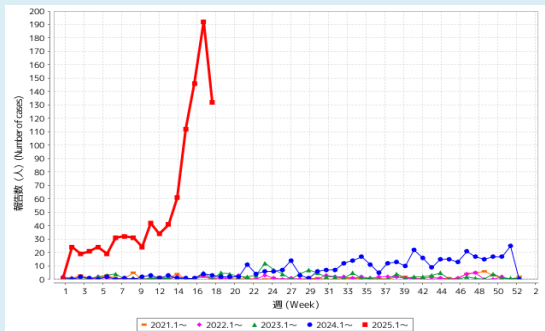
- 1) カタル期（約2週間）  
風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなる
- 2) 痙咳期（約2～3週間）  
短い咳が続いた後、大きく息を吸う発作を繰り返す
- 3) 回復期（2・3週～）  
徐々におさまる、時折発作性の咳が出る

**※大人の場合、症状が軽く、典型的でない場合があります。**

### 予防方法

- ・予防接種が有効です。**定期予防接種**（4種混合または5種混合ワクチン）を確実に行いましょう。  
1～3回目：生後2か月以上から、20日以上あけて3回  
4回目：3回目接種終了後から6か月以上あけて1回
- ・予防接種を受けてから時間が経つと免疫が低下してきます。大人の場合、症状が軽く受診・診断が遅れて感染源となることがあります。咳がある時は**咳エチケット**を心がけましょう。

### 東京都の流行状況



青線が2024年  
赤線が2025年  
です！



多摩小平保健所  
オリジナルキャラクター  
みずくま

東京都感染症情報センターホームページより

※ゴールデンウィーク期間の診療体制が報告数に影響を与えた可能性があります。

## 水痘(みずぼうそう)に注意！

水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。水痘は小児に多い疾患ですが、成人が発症した場合は重症化するリスクが高いと言われています。

### 症状

特徴的な症状は水疱（水ぶくれ）と38℃前後の発熱です。数日にわたり新しい発しんが次々と出現しますので、急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮（かさぶた）のそれぞれの段階の発しんが混在するのが特徴です。すべての発しんが痂皮になるまで6日程度かかります。

### 予防方法

感染経路は、空気感染、接触感染、飛沫感染です。

そのため、手洗い、マスクによる予防が有効です。また、最も有効な予防方法は、適切な時期の予防接種

※最新の流行状況や疾患についての情報は [こちら](#) を参照してください。